

|   |           |  |
|---|-----------|--|
| 1 | 審議会名      | 第1回上田市スポーツ推進審議会  |
| 2 | 日 時       | 平成24年10月30日 午後7時から午後8時30分まで  |
| 3 | 会 場       | 教育委員会やぐら下庁舎2階会議室   |
| 4 | 出席者       | 犬飼会長、小林副会長、石川委員、野口委員、廣川委員<br>堀内委員、松本委員、宮本委員、渡辺委員                                   |
| 5 | 市側出席者     | 教育長、教育次長、スポーツ推進課長、丸子地域教育事務所長<br>真田地域教育事務所長、武石地域教育事務所長、スポーツ施設係長<br>スポーツ推進係長、スポーツ推進係 |
| 6 | 公開・非公開等の別 | 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開  |
| 7 | 傍聴者       | 0人 記者 0人   |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 24年11月2日   |

協 議 事 項 等

- 1 開会（教育次長）
- 2 人事通知書交付
- 3 教育長あいさつ
- 4 委員・事務局自己紹介
- 5 会長及び副会長の選任
- 6 議事
  - (1) 上田市のスポーツ振興の現状等
  - (2) 上田市スポーツ振興計画の進捗状況
    - (会 長) 上田市のスポーツ振興の現状等を事務局のから説明をお願いします。
    - (事務局) 現状について説明
    - (会 長) 今日の資料の説明を頂きましたが委員の皆様はごらん頂いた上でご質問等ありましたらお願いいたします。
    - (会 長) 上田市のスポーツ振興計画の進捗状況について説明をお願いします。
    - (事務局) スポーツ振興計画進捗状況について説明
    - (会 長) 振興計画に基づいた進捗状況の説明がありました。何かご意見、ご質問ありませんか。
    - (委 員) 市内の中学・高校の部活動の現状を教えてください。
    - (会 長) 24年度の実施プランからすれば競技者育成のための体制強化という中に子供たちの部活動への支援があります。その現状はどうでしょうか。
    - (委 員) 子供が減ってきている。教師側も部活動の未経験者が指導している。高校の方も同じことが言えるのではないかと。
    - (委 員) 中学校、高校のスポーツをしたいという子供たちのニーズに地域とどうやって連携して応えて行くかというところが課題になると思う。地域のスポーツ指導者が学校に入るか、部活動が地域に出て行くのかこれから考えていかなければいけない。
    - (委 員) 丸子は地域の方が部活動に入ってうまくいっている。教員が指導者だと配置転換で長期間指導が出来ない。真田は総合型の方が入ってうまくやっている。事例はあるがいくつか問題点・課題もある。
    - (委 員) 真田は外部指導者の実績があるが他はまだまだ実績が少ない。
    - (会 長) 総合型でモデル事業などの紹介等があればよいが。  
学校現場では子供は減っている、教員も減っている。しかし子供が行いたいスポーツは多様化している。教員が全て就くこと不可能に近い。地域からの応援も必要。中学女子のスポーツクラブ活動への参加が少ない。もっと幼児期、児童期からからスポーツに親しみ、体を動かしたいという欲求を体に覚えさせることも必要ではないか。
    - (委 員) 部活動が社会体育のクラブに変わってきた中で全国大会に行ったときに校長が上田市のバスの使用申請に学校の部活動でないため判子を押しさない。部活動と社会体育活動との連携の難しさがある。

(事務局) 5時までは学校の部活動であり 5時以降は社会体育となっている。5時までの学校の部活動は保険に入っている。5時以降の社会体育活動は任意保険に入ってもらおうようにしている。

学校の部活動と社会体育活動の両方を教師が指導している現状。子ども、教師ともそれぞれ負担が大きい状態にある。外部指導者が入った場合、教育活動との調和のとり方が難しい。

学校、保護者、外部指導者との活動状況の話し合いがあまり行われていない。

このような状況が長野県の中体連の大きな課題と考えている。

スポーツ少年団に関しても同様なことがある。土日にスポーツ少年団の活動があり疲れて、月曜日の午前中に保健室に行く生徒が非常に多く見られ、小学校長から相談がある。このようなことをどの様に調整するか必要になる。

(会長) 部活動と社会体育の両者を知って、バランスをとる者が必要ではないか。

スポーツを振興しようとしている中で、起こるであろう問題点をあらかじめ予測しながら制度の見直しが出来たら行ったほうが良い。専門の機関で検討していただきたい。

(委員) 真田スポーツクラブでは子供たちに本物を見てもらいたいということで、アスリートに来てもらったりしている。指導者側も、アスリートの指導方法を見てスキルアップを目指し、資格の取得などに力を入れるようになった。小学校の体育の授業に教員補助という形で指導者を派遣している。

(会長) 指導者のスキルアップというのは信頼性につながる。学校体育では中学では新しい現代ダンスや柔道のような教師を悩ませるものが出てきている。

小学校には体育専門の教師が配属されていない。社会体育と小中学校との連携が取れればいいと思う。

(委員) 武石スポーツクラブは地域の保育園児からお年寄りまでの幅広いところをカバーしている。人口的な問題等もありなかなかうまくいっていない現状がある。ジュニアスポーツに指導者を付けて行っているが、指導者と保護者と子供たちがうまくいかない面がある。スポーツの指導だけでなく子供たち私生活の指導も含めて自らも成長していく必要がある。

(会長) 地域の中高生が繋がりを持ちながら小さい子に遊びやスポーツを教えてもらうことは、スポーツに貢献するということとされるので、いろんな企画を地域の実情に合わせて考えてほしい。

(委員) 良い指導者とめぐり会った子は、才能を開花させることがある。学校によって指導者に偏りがある。外部クラブで行ってきた子供たちの成長は早い。さらに自分だけでなく、後世の指導者になっていってほしいと思う。

(会長) 白馬村観光協会のスポーツ関連の話し合いのことだが、ラグビーの全日本のチームの監督が長野県で合宿場所を探していた。菅平については、もう少し環境のいいところでやりたいとのこと。もう少し利用者のイメージを知ったうえで環境を整える必要もあるのではないか。

(委員) 夏の合宿については飽和状態にある。天然芝を使用したグラウンドが理想。菅平には105面グラウンドあり。現在、約2割は各旅館で人工芝グラウンドの整備を行っている。また、無理に引き受けて悪いイメージを作らないようにしている。

(会長) たとえ飽和状態でも、菅平での合宿は大変気持ちのいい中で出来るというようなイメージをもってもらわないといけない。そうでないと5年10年先お客をとられていってしまう。

(委員) ラグビーだけでなく、陸上、スケートなど競技種目の分散化を図っている。

(会長) 一流アスリートと出会える場が市内にあるのはいいことだ。スポーツ団体の子供たちがそういうところで出会えるのはいいことだ。

## 7 閉会(教育次長)

\* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

\* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。